

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)	所管課	県民生活部 県民生活・男女参画課
所在地	甲府市朝氣1-2-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和59年1月20日
指定管理者	公益財団法人やまなし文化学習協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供し、もって男女共同参画の推進に資することを目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 4,296.88㎡ ○建築面積 1,766.31㎡ ○延床面積 4,020.25㎡ ○建物の構造 鉄筋一部鉄骨鉄筋コンクリート造り、地上3階、地下1階建て ○施設の内容 ・1階 団体連絡室、託児室、展示室、情報資料室、交流室、相談室、保健室、事務室 ・2階 大研修室、中研修室、小研修室(1)・(2)、会議室、工芸・美術室、調理実習室 ・3階 茶華道室(1)・(2)、視聴覚・音楽室、レクリエーション室		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)男女共同参画に関する学習機会と交流の場の提供に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) 甲府市総合市民会館 (2) 山梨県生涯学習推進センター
---------------------	------------------------------------

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	入館者数	84,555	85,994	85,502	
	事業参加者数	17,830	17,963	20,545	
	利用者数合計	102,385	103,957	106,047	
	目標値	101,000	105,300	107,000	109,200
	目標値設定の考え方及びその理由	対前年度実績概ね3%増			
対26年度比		101.5%	103.6%		
利用率	37.7%	37.3%	39.0%		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料	6,370,680	6,350,000	6,733,040	6,600,000
	指定管理者委託料	75,089,184	75,287,000	76,097,190	79,135,000
	その他	1,115,350	1,080,000	1,507,681	1,300,000
	収入合計(A)	82,575,214	82,717,000	84,337,911	87,035,000
支出	人件費	49,687,835	50,044,000	50,448,930	53,361,000
	県への納付金				
	管理運営費	32,119,237	32,673,000	33,739,792	33,674,000
	うち外部委託費(B)	8,531,860	8,590,000	8,595,860	8,940,000
支出合計(C)	81,807,072	82,717,000	84,188,722	87,035,000	
収支差額(A-C)	768,142		149,189		
外部委託比率(B÷C)	10.4%	10.4%	10.2%	10.3%	
利用者一人当たりの経費	722.3	703.6	717.6	724.7	

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:施設利用者へのアンケート 回答数:314人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設・設備の充実度	71.7%	24.5%	1.9%	0.6%
施設・設備の整備状態	73.9%	20.7%	2.2%	0.6%
サービスの内容	81.8%	14.0%	1.0%	0.0%
事業	84.4%	15.0%	0.6%	0.0%
施設全般の満足度	78.3%	17.5%	1.3%	0.6%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のPR、展示ができるスペースがほしい。 ・冷暖房の調整がもう少しできたら良いと思う。 ・窓口での対応は、とても親切で感謝している。 ・清掃が行き届いていて気持ちがよい。 ・設備機器等の不具合があった時の対応が、いつも迅速でありがたい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者は毎年6月の推進月間に、1階ロビーにおいて1ヶ月間の展示を利用できるようにしている。 ・センターの冷暖房については温度調節ができず、機器の入・切で温度調節を行うしかないことから、利用者に電話で事務室に入・切の要望を連絡してくれるよう伝え、速やかに対応している。

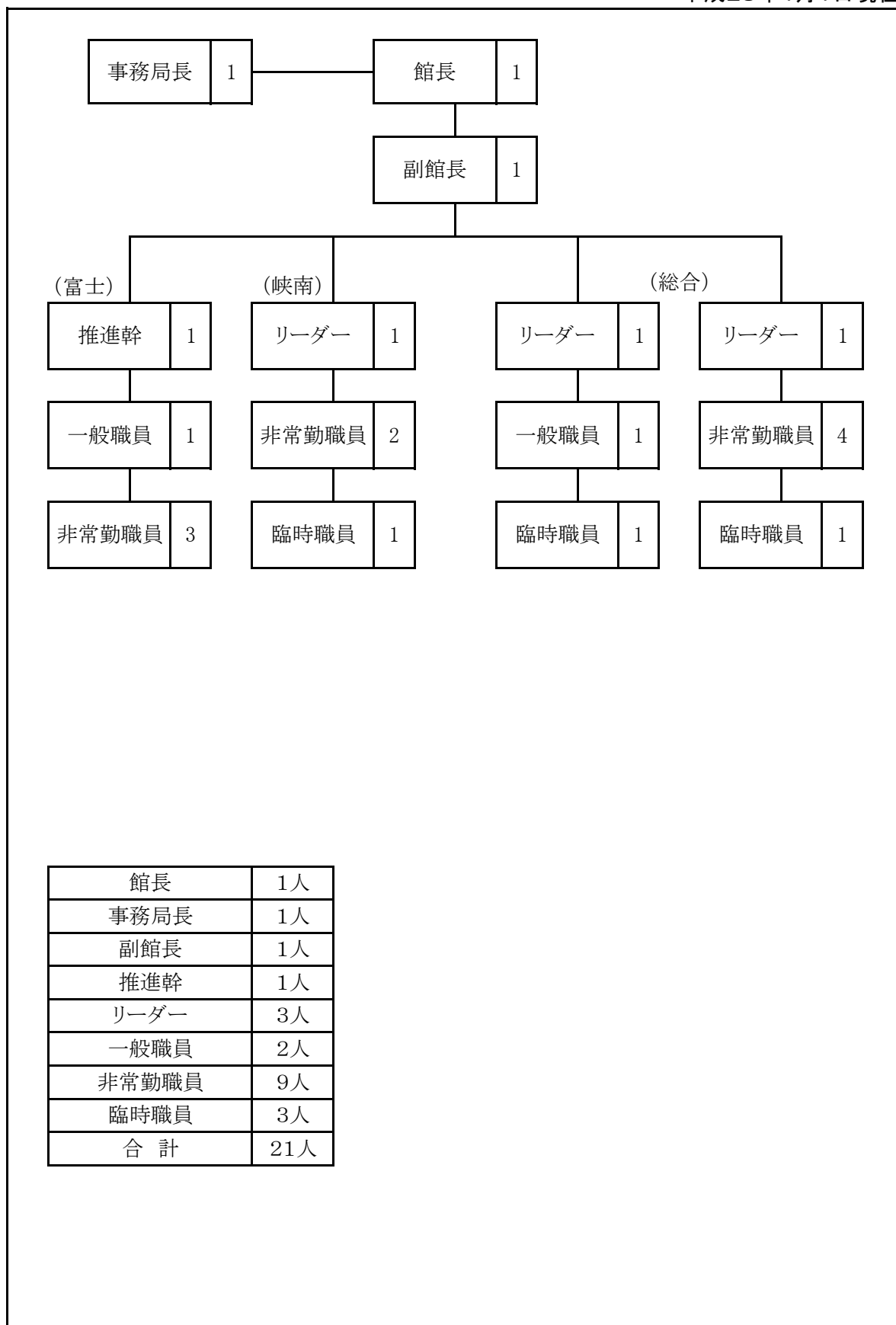
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法令、業務計画書等に基づき、施設の適正な管理・運営に努めた。</p> <p>利用者からの要望や館内点検の結果により、施設の不具合箇所が見つかった時は、速やかに修繕を実施するとともに、大規模修繕が必要な案件については、県に報告した。</p> <p>また大規模災害を想定した防災訓練、消防訓練を実施するとともに、施設内の避難誘導路の点検を実施した。</p> <p>さらに、利用者の安心・安全を図るため、職員による館内巡回の増加に努める等、防犯体制の強化を図った。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき、施設の維持管理業務が適切に実施されている。</p> <p>利用者の安全確保のため、避難経路の環境整備を図るとともに、内容を重視した実践的な防災訓練や、あらゆる場面を想定した防犯体制の強化に努めること。</p>
運営業務	<p>設置及び管理条例、利用及び利用料金に関する事務取扱要綱、業務計画書に基づき適正に業務を執行した。</p> <p>企画事業については、管内市町村推進委員及び市町村担当者との連携会議や、男性の家庭参画について考える講座等を開催した。</p>	<p>業務計画書等に基づき適正に執行されている。</p> <p>企画事業については、地域における男女共同参画の推進の重要拠点として、県民や市町村の取組を支援するほか、女性の活躍推進などの社会状況を踏まえた事業や、様々な課題解決に向けた実践的な活動を積極的に実施している。</p> <p>引き続き、それぞれの地域のニーズを踏まえながら、市町村や地域で活動する団体、管内の大学等と連携し、地域における様々な課題解決に向けた実践的な事業展開を進めること。</p>
利用状況	<p>入館者数は、85,502人で前年度とほぼ同程度であった。</p> <p>事業参加者数については、女性の起業など女性の活躍支援を目的とした講座等を開催し、前年度に比べ14%増え、利用者全体としても前年度に比べ2%増加した。</p>	<p>事業参加者数の増により、利用者数は増加傾向にあるが、目標を下回っている。</p> <p>若年層に事業への参加を促すため、今後も魅力的な事業の企画やPRの手法、SNSの発信時期など、効果的な方法を検討すること。</p>
収支状況	<p>施設利用料収入については前年度に比べ5.7%増加した。</p> <p>支出については、企画事業の充実を図った結果、事業費が増加するとともに、施設の老朽化により修繕費が増加し、前年度に比べ全体として3%増加した。</p>	<p>支出の増については参加者の需要に即した企画事業の開催や、利用者の利便性を高めるための修繕などによるものであり、適正と認められる。</p> <p>今後も利用者のニーズを把握し、必要かつ効果的な事業、修繕の実施に努めること。</p>

<p>自主事業</p>	<p>びゅあ総合の施設を地域の方々により身近に感じてもらうために、親子を対象としたアクセサリー作り等の体験講座やフリーマーケット等を開催し、15事業、2,417人の参加者があった。</p>	<p>自主事業は、センターの周知と、参加者を男女共同参画関連事業への参加につなげていく事業でもある。 今後も工夫を凝らした事業の企画・実施に努めること。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>施設の利用者及び事業参加者の満足度については、95%の方に「満足」、「どちらかといえば満足」の評価を得ている。 また、「不満」、「どちらかといえば不満」の意見に対しては、その内容に応じて可能な限り速やかに対応した。 今後も、利用者、事業参加者へのアンケート等をもとに、施設の適切な管理、事業の運営に努めていく。</p>	<p>利用者満足度はいずれの項目も高い評価を得ている。 引き続き利用者ニーズの把握に努め、施設の維持管理を適切に行い、利用者にとって快適な環境を提供するとともに、企画事業の充実などにより更なる向上に努めること。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書、業務計画書等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の定期点検を実施し、結果については定期報告書を県に提出し確認を受けている。 利用者からの要望や館内点検の結果により、施設・設備の不具合箇所が見つかった35件について、速やかに修繕を実施するとともに、大規模修繕が必要な案件については県に報告し、地下階段部分の漏水工事を実施した。 入館者数は、85,502人で前年度と同程度であった。 また、企画事業については、男性の家庭参画について考える講座等を開催し、全体として178事業、20,545人の参加者があり、前年比14%の増加となった。 利用者の合計は106,047人となり、前年度に比べ増加したものの、目標値107,000人に対し953人下回った。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理、運営業務、自主事業等については、協定及び業務計画書等に基づき概ね適正に執行されている。 施設の修繕についても、速やかな対応がとられている。また、企画事業にも創意工夫が見られ、今年度は女性の起業など女性の活躍支援を目的とした講座等を開催し、参加者の増加につなげている。これらの自主努力により総合的な利用者満足度も高い評価を得ている。今後も利用者満足度調査等の結果に基づき、利用者等の意見に対する業務改善を図るよう指導した。 また、推進センターは男女共同参画の推進拠点であることから、それぞれの地域のニーズを踏まえながら、市町村や地域で活動する団体、管内の大学等と連携し、地域における様々な課題解決に向けた実践的な事業を実施するよう指導した。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の管理については、より効率的な運営に努めるとともに、利用者の意見や要望等を把握し、迅速に対応していく。施設・設備に関する満足度は高く、利用者からは「講座・セミナーの充実」に期待する声が多いため、今後も期待に添えるよう魅力ある講座等の拡充に努めていく。 事業については、地元大学と連携して講座を開催することなどにより、実践的な活動やネットワークづくりを進めていく。</p>	

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在



館長	1人
事務局長	1人
副館長	1人
推進幹	1人
リーダー	3人
一般職員	2人
非常勤職員	9人
臨時職員	3人
合計	21人